



14  
3157  
47(u)



發市  
強  
化  
四  
丁  
未  
春

部ひな  
由ゆ  
其その  
上上州州  
像おしり  
縁り

一筆庵主人作  
初編 二冊  
一陽齋豊國畫  
新書喜丸書門梓





下之巻



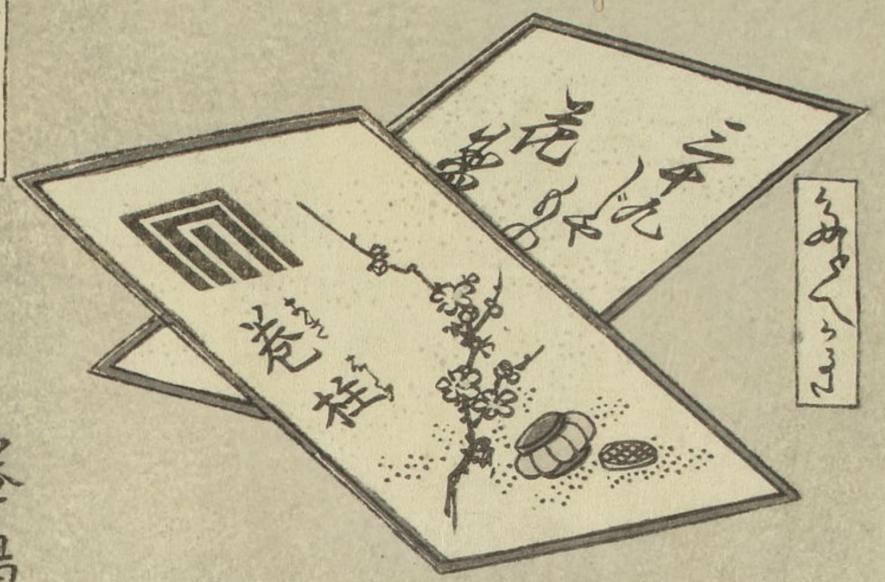
上之巻

一筆庵主人作  
一陽齋豊園画

弘化四年丁未歲

仙鶴堂新様

信比うり



僊鶴堂

大傳馬所二丁目 鶴屋喜右衛門様

一草花主人伝  
一陽春典國画  
初編下冊

花の由り  
しあけ  
あや

晋書小曰王濟の馬の癖あり和嶠の錢と弄ぶの癖あり杜預の左傳  
 と讀の癖あり王福時の兒と譽る癖あり黄魯直の香と好む癖あり李  
 涉の竹と愛まる癖ありと見えろ素癖の嗜好の病る人毎ふひと  
 つに癖のゆるるもの我の癖のゆるるもの道と慈鎮の歌道と好む癖とみづろ歌  
 およもれろ然れが上戸の酒の癖下戸の癖あれども癖の中亦一癖の種  
 あり不佞従来画の癖あり常々嬾隨癖あり出来ぬ戲作をあら付る癖あり  
 其癖慾を錢を欲ふ癖あり酒の酔とせんがうとする癖あり甘味  
 のを喰ひ飽食癖あり手のまろむのゆるる世話とやく癖ありて年中損を  
 癖あり倦る癖の冠る者馬をくろくいのふせえ爰に仙鶴堂の商賣を励  
 癖あり予が癖を知て戲作を需紫媛が由縁の佛と鄙の賤姿ふたは知  
 兒のふ勸善懲惡の教諭とるえ一端とま是のふ世話の癖をゆるく

弘化末の新春

一筆其弁主人誌

















○かくて多うて...  
 うつろふ...  
 けり...  
 うれ...  
 こころ...  
 うら...  
 と...  
 こころ...  
 うら...  
 と...  
 こころ...  
 うら...  
 と...



△...  
 ○...  
 うら...  
 と...  
 こころ...  
 うら...  
 と...  
 こころ...  
 うら...  
 と...  
 こころ...  
 うら...  
 と...





























Vertical text on the left side of the page, likely a title or description.

Vertical text on the left side of the page, likely a title or description.

Vertical text on the right side of the page, likely a title or description.

Red rectangular stamp on the right side of the page.



Vertical text at the top of the page, likely a title or description.

Red rectangular stamp on the right side of the page.

其紫郡の塔の編 下冊

一筆茶主人作 弘化丁未春  
一陽斎墨田画 大信堂印  
弘化丁未春

迷岐

公道人情兩是非  
若依公道人情欠

人情公道最難為  
順了人情公道虧

彼墨翟が岐道ふち泣涕も善悪邪正のそあるは亦  
此支を想へるより從來善人の欲する所悪人の憎む処  
誰り是非を分とさうん只是非義の情不縁の欲迷ふ  
故此岐道ふ惑みのそ克其道理を通曉境ふ至るの  
最稀るり然れば童蒙兒女の為好道理も論んとを果  
敢るも策子譚ふ情態を以て善ふ薦め悪を懲り他を  
誠め已む教言る一端もあんと初輯ふ嗣て二編の稿を脱るのそ

弘化丁未新春 一筆茶主人誌

部第二



いづれん  
おとめ  
あはれ  
おとめ  
あはれ  
おとめ  
あはれ

ゆき  
このまのつらとあやしと  
とえきまそ中畧おのひろと  
年久のてまのせなりぬみ云



かんの君乃おん  
けいさく  
おとめ  
あはれ  
おとめ  
あはれ

濱葛初て室町の  
御所子出係











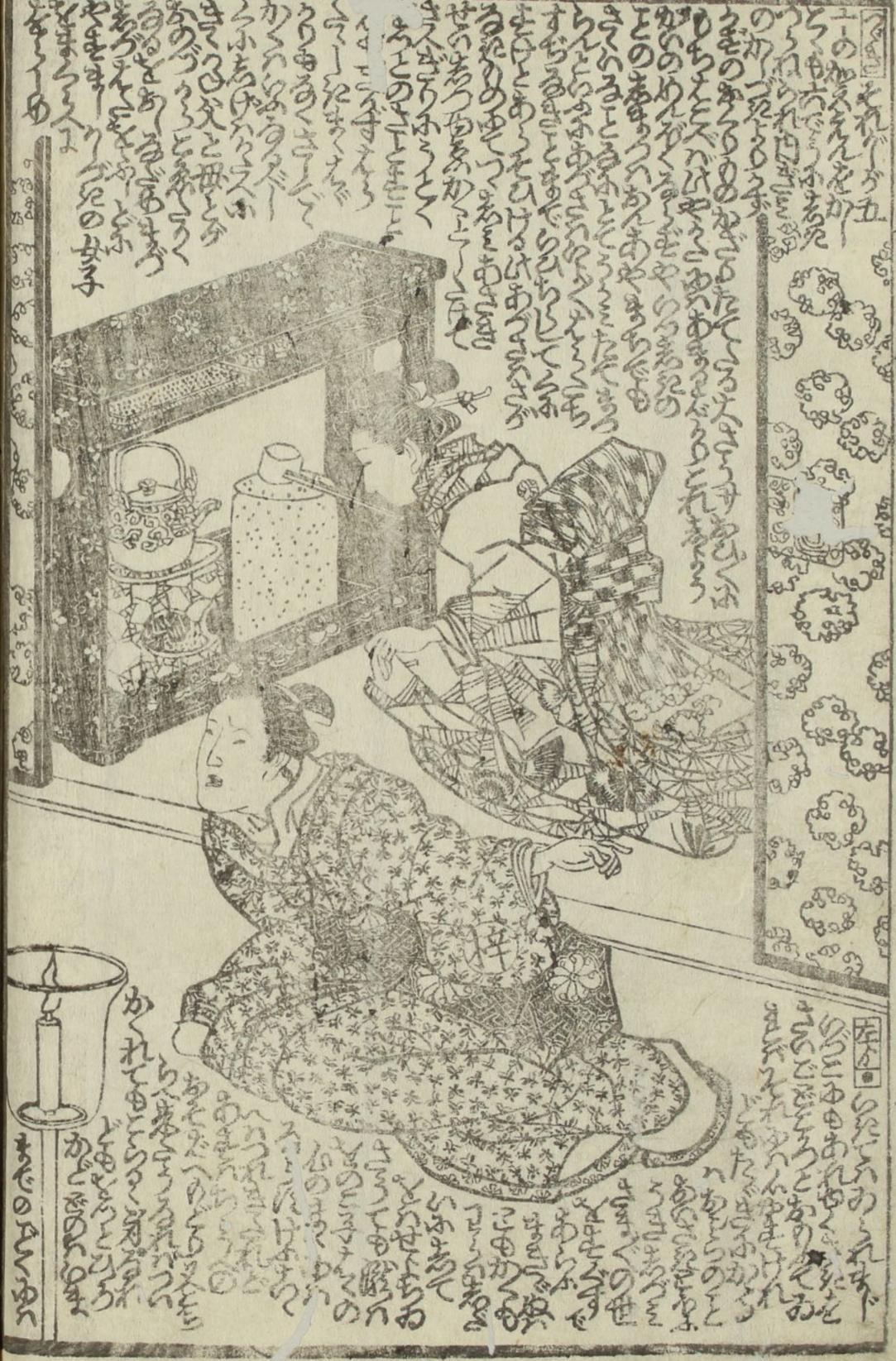
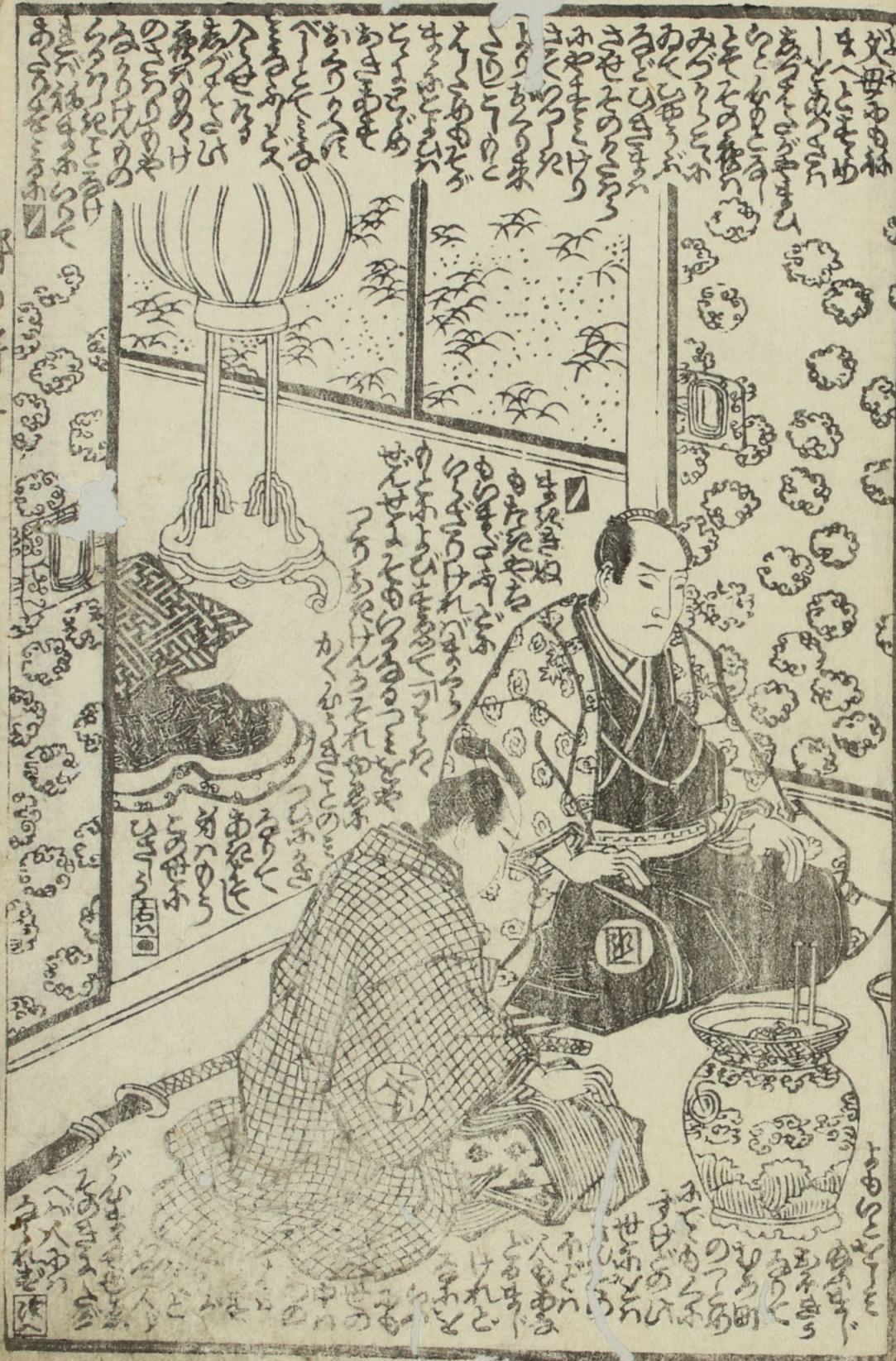


















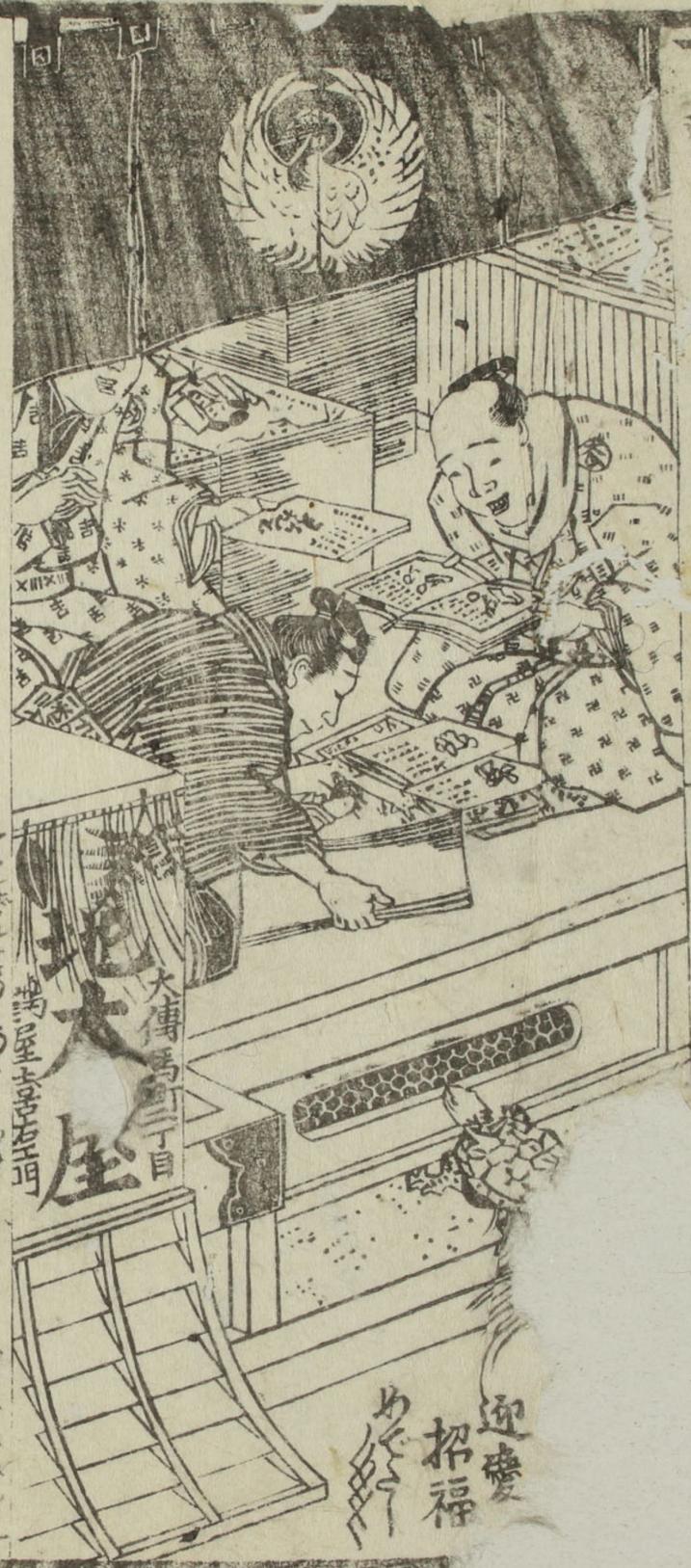








陽齋曲豆國画一筆茶



其由縁鄙俤第三編

勸善懲惡の旨と茶一不怒一切の  
女輩のたゝすことあるはまじき  
ちもこの筆紙のあつてはつて出  
大傳馬三丁目  
萬屋まきを明  
地大屋

迎慶  
招福  
めでた

安藤

芳井



